

報道関係者各位

マニユライフ生命保険株式会社

神奈川大会代表の浅野高等学校が初優勝！ 第20回全国高校生金融経済クイズ選手権 エコノミクス甲子園 マニユライフ生命カップ 全国大会

マニユライフ 長寿経済インスティテュートの取り組みの一環として、金融リテラシー教育の推進に貢献

マニユライフ生命保険株式会社（取締役代表執行役社長兼 CEO：ライアン・シャーランド、本社：東京都新宿区、以下「マニユライフ生命」）がメインスポンサーを務める「第20回全国高校生金融経済クイズ選手権 エコノミクス甲子園 マニユライフ生命カップ 全国大会」（主催：認定 NPO 法人 金融知力普及協会）が、2026年2月22日（日）に東京都渋谷区の国立オリンピック記念青少年総合センターで開催され、神奈川大会代表の浅野高等学校（以下、浅野高校）のチームが優勝しました。優勝チームには、優勝トロフィーのほか、ニューヨーク研修旅行が授与されました。



（左から）
マニユライフ生命 専務執行役員 CDO 外池 宏之、
浅野高校 里 環太さん、早川 慶さん、
マニユライフ生命 常務執行役員 CMO カーラ・ハートライト



優勝の瞬間、歓喜に沸く浅野高等学校チーム

「マニユライフ長寿経済インスティテュート」の枠組みを通じた金融教育への貢献

本取り組みは、あらゆる年代の人々が健やかで充実した人生を送れるよう支援するグローバルな研究、ソートリーダーシップ、アドボカシー、コミュニティ投資プラットフォームである「Manulife Longevity Institute（マニユライフ長寿経済インスティテュート）」の理念に基づくものです。アジア地域社会への継続的な投資と、人々がより長く、より健康で、より経済的に安定した生活を送るためのマニユライフの施策です。イニシアチブの一環として、高齢化社会において健康で充実した人生を実現する重要な指標として、「ウェルススパン（資産寿命）」—十分な経済的資源をもって安心して生活できる期間—の概念を提唱しています。これらを通じて、マニユライフ生命は「100年人生時代における信頼されるライフプランニングのパートナー」となることを目指し、人々が自信を持って将来を計画し、享受できる社会の構築を推進していきます。また、その実現には若年層への早期の金融教育支援が不可欠であると考えています。

本大会への協賛は、同インスティテュートが掲げる「あらゆる年代の人々がより良く生きられるように支える」というコミットメントを具現化する重要な活動です。「[高校生金融リテラシー調査](#)」では、92%の高校生が金融教育を「必要」と回答しており、若い世代のニーズは非常に高まっています。当社は12年連続のメインスポンサーとして、金融知識クイズという挑戦を通じて、社会に出る前の高校生が「自分のライフデザイン」や「お金との関わり方」を主体的に考えるきっかけを提供しています。

全国大会は、地方大会およびインターネット大会、そして中国大会代表を合わせ計 41 チーム 82 名で行いました。

全国大会前日の 2 月 21 日（土）には、グループワークのプレゼンテーション発表に取り組み、翌日の本戦に臨みました。決勝戦ではマニユライフ生命のチーフ・マーケティング・オフィサー（CMO）のカーラ・ハートライトが、将来の不安なく生きるためのライフプランニングの重要性を参加者に考えてほしいという意図のもと、安心して暮らし続けるための指標「ウェルスパン（資産寿命）」の概念を問うクイズを出題しました。

開会式では、財務大臣 内閣府特命担当大臣（金融） 租税特別措置・補助金見直し担当の片山 さつき様をご登壇され、次のようにコメントされました。「現在の高市政権は、『挑戦しない国に未来はない』というテーマを掲げ、日本を再び世界のトップクラスの国へ押し上げようとしています。金融自体は高度になってきており、日本はこの分野に強いです。若いうちから投資や資産形成に触れることは、将来の進学や起業など、人生の選択肢を大きく広げてくれます。皆さんにはぜひ同世代へ金融リテラシーを広めるリーダーになっていただき、日本が挑戦する国になる原動力となることを期待しています。」

金融・経済の知識だけでなく、チームワークや判断力、先を読む力など高い総合力が問われ、激闘の末、神奈川大会代表の浅野高校が優勝しました。浅野高校 1 年の里 環太（さと かんた）さんと、早川 慶（はやかわ けい）さんは「優勝できて本当に嬉しいです。大学レベルの経済学の計算問題まで対策し、決勝では 2 人でヒントをうまく活用して利益を増やせたことが勝因でした」と喜びを語りました。また、大会を通じた経験については、「金融の勉強を通じて世の中の流れがより分かるようになりました。全国の同年代と 3 日間を共にし、絆を深められた素晴らしい大会でした」と語りました。

マニユライフ生命 専務執行役員 チーフ・ディストリビューション・オフィサー（CDO）の外 池 宏之は、次のように述べています。「私自身、社会に出てから金融や経済を一から学び直す難しさを実感してきました。だからこそ、高校生の段階で金融に触れ、自ら学ぶ姿勢を持つことは、将来の大きな力になります。本大会では、知識だけでなく、ペアとして信頼を築き、互いを支えながら挑戦する力も育まれました。自分の未来を主体的に考え、より良い選択ができる若い世代が増えることは、長寿社会の日本にとって極めて重要です。マニユライフ生命は、これからも若い世代が『知る・考える・行動する』機会を広げ、金融についての対話を促進する取り組みを通じて、人々がより良い選択ができる社会づくりに貢献してまいります。」

また、認定 NPO 法人金融知力普及協会の常務理事兼事務局長の鈴木 達郎氏は、今回の大会を振り返り、次のようにコメントしています。「エコノミクス甲子園は、この 20 年間で、社会へ羽ばたく直前の高校生 3 万人以上に、生きていくうえで欠かせない金融・経済の知識を身につけていただくお手伝いをしてまいりました。この歩みは、協力・後援・協賛をいただいた多くの企業・団体の皆様、そしてボランティアとして支えてくださった皆様のご尽力なくして成し得なかったものです。ここに深く感謝申し上げるとともに、これからの 20 年も、若者の金融リテラシー向上に引き続き貢献してまいります。」

第20回エコノミクス甲子園 決勝ラウンドの結果

順位	学校名	出身地方大会名
優勝	浅野高等学校	神奈川大会
準優勝	滋賀県立守山高等学校	滋賀大会
3位	ラ・サール高等学校	インターネット大会
4位	香川県立高松高等学校	香川大会
5位	岐阜県立岐阜高等学校	岐阜大会

全国高校生金融経済クイズ選手権「エコノミクス甲子園」について

エコノミクス甲子園は、第1回大会（2006年に地方大会、2007年に全国大会を開催）以来、第20回大会までで全国延べ6,496校から32,587名の高校生がチャレンジしてきました。参加者は同じ学校に通う生徒二人一組でエントリーし、エコノミクス甲子園を企画・主催する認定NPO法人 金融知力普及協会から提供される事前学習教材で金融知力を身につけ、地方大会（インターネット大会含む）に臨みます。地方大会（インターネット大会含む）の勝者は毎年2月に開催される全国大会に進み、全国大会で優勝を果たしたペアには、優勝トロフィーおよび、副賞として海外研修旅行が贈られます。また、認定NPO法人 金融知力普及協会は「金子・森育英奨学基金」と称し、返済不要の奨学金を給付しており、全国大会参加者のうち、所定の条件を満たす希望者の中から1～3名を選考し、全国大会で発表します。全国大会および奨学金についての詳細は公式ウェブサイトをご参照ください。

エコノミクス甲子園についてはこちら (<https://econ-koshien.com/>)

金子・森育英奨学基金についてはこちら (<https://econ-koshien.com/?p=361>)

長寿経済インスティテュートについて

長寿経済インスティテュートは、研究・ソートリーダーシップ、提言、コミュニティ投資を通じて、人々がより長く、健やかに、そしてお金の不安なく生きられるよう行動を促すグローバル・プラットフォームです。3億5千万カナダドルのシグネチャー・コミットメントを基盤に、健康寿命の延伸とすべての人の金融レジリエンスの向上に重点を置いています。グローバルな保険会社であり、退職プランを提供し、資産運用会社も展開するマニユライフは、この変革を主導する立場にあります。同インスティテュートの活動は、長寿経済を育てる組織への投資、トップレベルの学術機関やシンクタンクとの研究連携、そして加齢に伴う社会課題への理解と行動を広げる知見発信（Thought Leadership）を通じて、マニユライフの「Impact Agenda（インパクト・アジェンダ）」を支えます。米国では「John Hancock Longevity Institute」の名称で展開しております。運営は、マニユライフの経営陣およびグローバル・リーダーシップ・チームのメンバーで構成されるステアリング・コミッティが方針を策定し、カナダ／アジア／米国のパートナーや長寿領域の有識者からなる強固なエコシステムと連携して進めます。

詳細はこちら：<https://www.manulife.co.jp/ja/individual/about/longevity-institute.html>

マニユライフ生命について

マニユライフ生命は、カナダに本拠を置く大手金融サービスグループ、マニユライフ・ファイナンシャル・コーポレーションのグループ企業です。ブランドメッセージ「人生に、たしかな選択を。」のもと、生命保険による保障、退職後の生活設計、資産形成など、お客さま一人ひとりに合わせたソリューションを通じて、より良い未来に向けた選択を支援しています。当社は、長期的な経済的ウェルビーイングの実現に向けて、グローバルな専門性と日本市場に根差した知見を融合し、保障、資産形成およびその継承をサポートします。

当社に関する情報は、公式ウェブサイト (<https://www.manulife.co.jp>)、およびLinkedIn アカウント (<https://www.linkedin.com/company/manulife-japan/>) をご覧ください。

マニユライフについて

マニユライフ・ファイナンシャル・コーポレーションは、世界有数の大手金融サービスグループです。マニユライフは、複雑な社会においてお客さまがより簡単に最適な判断をし、より良い人生を送るためのお手伝いをします。カナダのトロントに本拠を置き、カナダ、アジア、欧州ではマニユライフとして、米国ではジョン・ハンコックとして、個人、団体、企業のお客さまに金融アドバイスおよび保険商品をご提供しています。マニユライフ・ウェルス&アセット・マネジメントを通じては、世界中の個人・機関投資家・退職金制度加入のお客さま向けにグローバルな投資や金融アドバイス、退職金制度のサービスをご提供しています。2024 年末現在、マニユライフは世界中で 37,000 人超の職員と 109,000 人超の営業職員および数千の販売パートナーを擁し、約 3,600 万人のお客さまに商品やサービスをご提供しています。トロント証券取引所、ニューヨーク証券取引所およびフィリピン証券取引所においては「MFC」の銘柄コードで、また、香港証券取引所では「945」で取引されています。すべてのサービスがすべての国と地域で利用できるわけではありません。

詳細は、<https://www.manulife.com> をご覧ください。

認定NPO法人 金融知力普及協会について

金融知力普及協会とは、全ての人々に金融知力の重要性ならびにその必要性を知っていただき、その金融知力を身につけていただくためのお手伝いをする特定非営利団体です。消費者、財界、教育界、金融界などから広く知恵を集め、会の趣旨に賛同する会員により支えられ、すべての人に金融知力を養ってもらうために活動しています。詳細は公式ウェブサイト (<https://www.apfl.or.jp>) をご参照ください。